

Self Check Sheet

薬局・販売店様用

「メンソレータムフレディCC」の「膣錠」又は「クリーム」を販売される前に、次のフローチャートに従って、これらの医薬品が使用できる方であることをチェックしてください。

スタート

はい

いいえ

以前に医師から、膣カンジダの診断・治療を受けたことがある。

使用しないでください。

【医師の診療を受けるようご指導ください。】

膣カンジダの再発を繰り返している。
(2ヶ月以内に1回又は6ヶ月以内に2回以上)

使用しないでください。

【医師の診療を受けるようご指導ください。】

次のいずれかの症状がある。

- ・発熱又は悪寒
- ・不規則な、又は異常な出血、血の混じったおりもの
- ・吐き気又は嘔吐
- ・膣又は外陰部に潰瘍、水膨れ又は痛みがある
- ・下腹部の痛み
- ・排尿痛、又は排尿困難

使用しないでください。

【医師の診療を受けるようご指導ください。】

糖尿病の診断を受けた。

使用しないでください。

【医師の診療を受けるようご指導ください。】

本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある。

使用しないでください。

【医師の診療を受けるようご指導ください。】

妊婦である、又は妊娠していると思われる。

使用しないでください。

【医師の診療を受けるようご指導ください。】

60歳以上である。又は15歳未満である。

使用しないでください。

【医師の診療を受けるようご指導ください。】

次のいずれかに当てはまる。

- ・医師の治療を受けている。
- ・授乳中である。
- ・薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある。

使用する前に医師又は薬剤師にご相談ください。

【必要に応じ、医師に相談するようご指導ください。】

以前、医師により膣カンジダの診断・治療を受けたときと同じ症状がある。

膣カンジダの再発かどうかよくわかりませんので、使用しないでください。
【医師の診療を受けるようご指導ください。】

剤型の選択へ

膣症状がある：おかゆ（カッテージチーズ）状や白く濁った酒かす状

膣剤（膣に挿入する薬）を使用してください。
外陰部症状がある場合はクリームを併用することもできます。

外陰部症状：発疹（発赤、はれた感じ等）を伴うかゆみ
外陰部にひどいただれがある場合には、クリームは使用できませんので、医師の診療を受けるようご指導ください。

●膣剤には、6日療法用と1日療法用があります。

外陰部のただれがひどい

医師の診療を受けるようご指導ください。

クリームを使用してください。

【腔内に菌が存在する可能性もあることから、膣剤の併用をおすすめください。】

●6日療法：1日に1錠ずつ6日間連続して、お薬を使用します。6日間連続して治療が続けられる人に。

●1日療法：1錠（1日分）に6日分の有効成分が配合されています。忙しさ等で6日間連続しての使用が困難な方に。

膣剤の選択

1日療法の膣剤には、アプリケーターで挿入するタイプもあります。

手指で挿入

アプリケーターで挿入

膣錠のみの製品を選択してください。

アプリケーター添付の製品を選択してください。

本品は膣錠です。膣錠は使用後、溶けずにそのまま出てくる(脱落する)ことがあります。
膣錠が溶けずにそのまま脱落した場合、治癒等の確認のために、医師の診療を受ける必要があります。

販売する際は「メンソレータムフレディCC」の膣錠又はクリームのご販売にあたって記載の各項目について、十分ご説明ください。

ロート製薬株式会社

メンソレータムフレディCC膣錠・クリームご販売にあたって

セルフチェックシートで本剤の使用の可否をご確認後、下の項目を十分ご説明のうえご販売ください。

<有効成分>

膣錠	クリーム
イソコナゾール硝酸塩 100mg/1錠中	イソコナゾール硝酸塩 1%

<効能・効果>

膣錠	クリーム
膣カンジダの再発。(以前に医師から、膣カンジダの診断・治療を受けたことのある人に限る。)	膣カンジダの再発による、発疹を伴う外陰部のかゆみ(以前に医師から、膣カンジダの診断・治療を受けたことのある人に限る)ただし、膣症状(おりもの、熱感等)を伴う場合は、必ず膣剤(膣に挿入する薬)を併用すること。

「メンソレータムフレディCC膣錠」及び「メンソレータムフレディCCクリーム」は、膣カンジダ再発の人、すなわち、以前に医師より、「膣カンジダ」との診断を受け、その症状および治療が完了したときの状態を経験している方のみを対象としています。膣カンジダの症状を初めて経験された方は、医師による確定診断が必要ですので、本剤を使用せず、必ず、医師の診療を受けるようご指導ください。

<用法・用量>

膣錠	クリーム
成人(15歳以上60歳未満)1日1回(できれば就寝前)、1錠を膣深部に挿入する。 6日間 毎日続けて使用すること。 ただし、 3日間 使用しても症状の改善がみられないか、 6日間 使用しても症状が消失しない場合は医師の診療を受けること。	成人(15歳以上60歳未満)、1日2〜3回適量を患部に塗布する。ただし、 3日間 使用しても症状の改善がみられないか、 6日間 使用しても症状が消失しない場合は医師の診療を受けること。 (1)外陰部症状のみの場合:本クリームを使用すること。ただし、膣剤(膣に挿入する薬)を併用することが望ましい。 (2)膣症状(おりもの、熱感等)を伴う場合:膣剤(膣に挿入する薬)を併用すること。

膣錠

膣カンジダは、カンジダ属真菌に起因する感染症であり、症状が消失しても、菌が膣内に残存していることが多いので、根気よく治療を継続する必要があります。必ず**6日間**連続して使用するようご指導をお願いします。

- 錠剤ですが、膣に挿入して使用するものですので、飲まないよう注意喚起をお願いします。もし、誤って飲んでしまった場合は、すぐに医師の診療を受けるようご指導ください。
- 症状が消失しても、**6日間**使用するようご指導ください。
- 本膣錠の対象は15歳以上60歳未満です。15歳未満の小児及び、60歳以上の高齢者は使用しないようにご指導ください。
- 生理中は薬剤が流れ出してしまう可能性がありますので、生理中や本膣錠を使用中に生理になってしまった場合には、本膣錠を使用しないようご指導ください。また、治癒などの確認が必要であることから、医師の診療を受けるようご指導ください。使用中に生理になりますと本膣錠による治療が継続できませんので、生理予定日を勘案し使用を開始するようご指導ください。なお、使用を中断して残った薬剤については、使用期限内であれば、本膣錠を使用して治療を行える次の機会にご利用頂けますが、その場合にも必ず**6日間**続けてご使用いただくようご指導ください。

クリーム

3日間使用しても症状の改善がみられないか、**6日間**使用しても症状が改善しない場合は、自己判断で治療を継続せず、治療法を含め医師への相談が必要です。医師の診療を受けるようにご指導をお願いします。

本クリームは、発疹(発赤、腫脹感等)を伴う外陰部のかゆみがある場合に使用するようご指導ください。外陰部症状のみの場合であっても、膣内に菌が存在する可能性もあることから、膣剤を併用することをおすすめください。また、膣症状(おりもの、熱感等)を伴う場合には、本剤に加えて、必ず、膣剤を併用するようにご指導ください。チューブから指の第一関節まで出した量が手のひら2つ分くらいの範囲に塗れる量ですので、塗布する際の目安とするようご指導ください。また、症状のある部位より広めに塗布するようにご指導ください。

- 使用前後は、手指を石けんでよく洗うようご指導ください。
- 本クリームの対象は、15歳以上60歳未満です。15歳未満の小児及び60歳以上の高齢者は使用しないようご指導ください。
- 目に入らないよう注意し、万が一、目に入った場合は、すぐに水又はぬるま湯で洗い、直ちに眼科医師の診療を受けるようご指導ください。
- 生理中や本クリームを使用中に生理になった場合は、本クリームを使用しないようご指導ください。また、治癒等の確認が必要であることから、医師の診療を受けるようご指導ください。

次の場合は直ちに使用を中止し、医師又は薬剤師に相談するようご指導ください。

(1) 使用後、次の症状があらわれた場合

	関係部位	症 状
膣錠	膣	疼痛(ずきずきする痛み)、腫脹感(はれた感じ)、発赤、刺激感、かゆみ、熱感
クリーム	皮 膚	刺激感、発赤、かゆみ、かぶれ、疼痛(ずきずきする痛み)

(2) 3日間使用しても症状の改善が見られない場合、他の疾患の可能性も考えられます。また6日間使用しても症状が消失しない場合は、自己判断で治療せず、治療法を含め医師へ相談が必要です。医師の診療を受けてください。なお、クリームの単独使用で効果がない場合も、自己判断で治療を行わず、医師の診療を受けてください。

生活上の注意

- (1) **膣カンジダを再発した場合には、パートナーに感染している可能性があるため、膣カンジダに感染した旨を伝え、パートナーの方は陰部のかゆみ、発赤等の不快症状があれば、すぐに医師の診療を受けてください。**
- (2) パートナーへの感染を避けるため、本剤を使用中は性行為を避けましょう。
- (3) 本剤使用中は、患部への刺激を避けるため、殺精子剤は使用しないようにしましょう。
- (4) 膣剤使用時は薬剤の効果を維持するため膣内を洗うことは控えましょう。
- (5) 入浴時は石けんの刺激を避けるために、外陰部は石けんで洗わず、お湯だけで軽く洗う程度にしましょう。
- (6) カンジダ菌は、温度や湿度の高い状態で繁殖しやすいため、できるだけ乾燥した状態を保つようにすることが大切です。以下の点に気を付けましょう。
 - 入浴、水泳後等は、膣の外側は十分乾かしましょう。濡れた水着などはできるだけ早く着替えましょう。
 - おりものシートなどの衛生用品を使用される場合は、こまめに交換しましょう。
 - 下着は、通気性のよい綿製品などを用いるようにしましょう。
- (7) 下着やタオルは毎日清潔なものを買い、タオルなどは感染を避けるため、家族と共用しないようにしましょう。
- (8) カンジダ菌は腸にも常在している菌です。トイレの後は腸からの感染を避けるため、前から後ろにふきましょう。
- (9) かゆみがあっても、外陰部をかかないようにしましょう。かくと、刺激がひどくなったり、感染が広がる可能性があります。

お問い合わせ先／お客さま安心サポートデスク 受付時間／9:00〜18:00(土、日、祝日を除く)

お気軽にお問い合わせください。
女性スタッフが丁寧にお応えします。

フレディコール ☎ 06-6758-1422

ロート製薬株式会社 大阪市生野区巽西1-8-1